

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	浅海底地形学を基にした沿岸域の先進的学際研究－三次元海底地形で開くパラダイム－
研究代表者	菅 浩伸 (九州大学・大学院比較社会文化研究院・教授) ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	本研究は、浅海底の地形研究を発展させ、精密地形図の作成を行った上で、地質学・堆積学、沿岸環境・防災、生物、文化など関連する諸分野の研究を学際的に展開し総合的環境理解へとつなげるという意欲的なものであり、国際的にも注目されるものである。関連する諸分野との統合をより強化することで、十分な研究成果を上げることが期待され、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。